

## 令和2年度温室効果ガス排出量結果報告及び評価

令和2年度二酸化炭素排出量は、基準年度（平成20年度）と比較して、1.7%の増加となりました。電気の排出係数が大幅に増加したことから、一時期は値が増加していましたが、近年は減少傾向です。

市の取組みを評価するため、エネルギー使用量についても評価します。エネルギー使用量は基準年度比で9%減少しています。施設が増えたことによって近年増加傾向でしたが、前年度と比較すると令和元年度に続いて減少しました。

エネルギー効率の良い電気への転換を進めたことから、エネルギー使用量における電気の使用量の構成割合が76.0%と高く、二酸化炭素排出量の多いA重油をはじめ、電気以外のエネルギー使用量が基準年度比で大幅に減少しています。引き続き取組みを進め、施設の更なる省エネルギー化を進めてまいります。

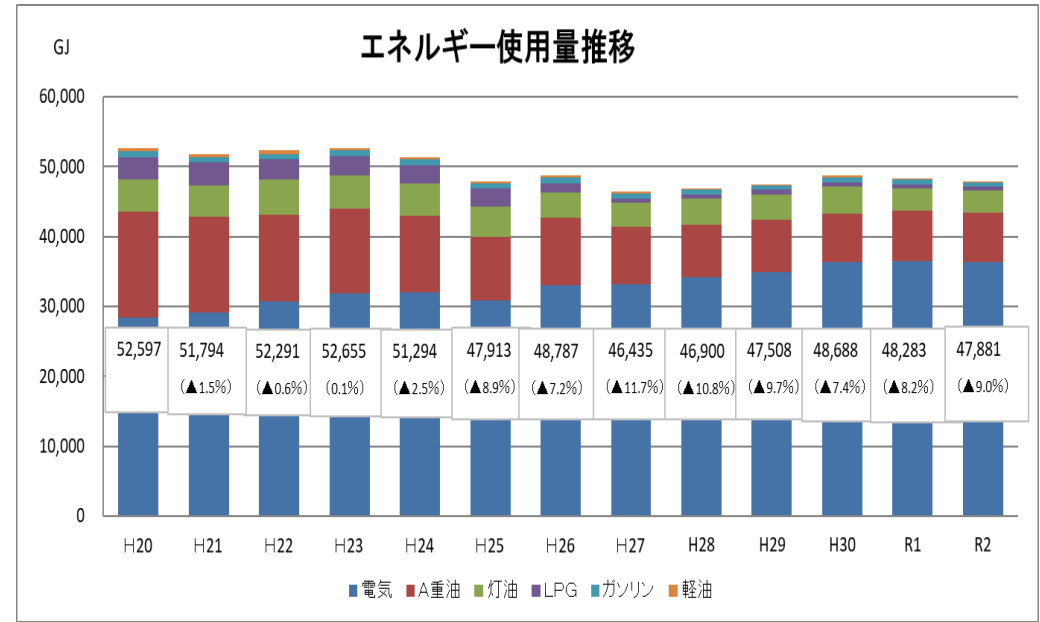
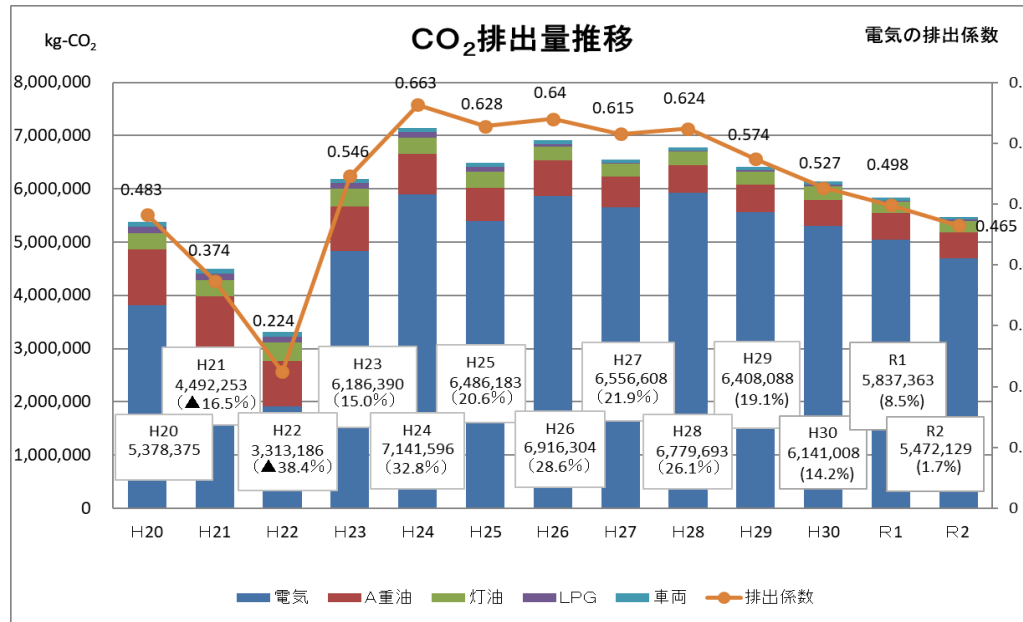


表1 発生源別二酸化炭素排出量 (単位: kg-CO<sub>2</sub>)

要因	平成20年度 排出量 (基準年度)	令和元年度 排出量	令和2年度		
			排出量	構成割合	基準年度比 増減
電気	3,805,799	5,040,735	4,700,609	85.9%	23.5%
A重油	1,051,878	498,030	485,024	8.9%	-53.9%
灯油	309,374	216,423	215,830	4.0%	-30.2%
LPG	127,186	24,502	24,205	0.4%	-81.0%
車両	84,138	57,673	46,461	0.8%	-44.8%
合計	5,378,375	5,837,363	5,472,129	100.0%	1.7%

表2 発生源別エネルギー使用量 (単位: GJ)

要因	平成20年度 排出量 (基準年度)	令和元年度 使用量	令和2年度		
			使用量	構成割合	基準年度比 増減
電気	28,366	36,439	36,392	76.0%	28.3%
A重油	15,179	7,187	6,999	14.6%	-53.9%
灯油	4,561	3,191	3,182	6.7%	-30.2%
LPG	3,252	629	619	1.3%	-81.0%
車両	1,239	837	689	1.4%	-44.4%
合計	52,597	48,283	47,881	100.0%	-9.0%